

### 住みたい 帰りたい 訪れたい 美しいまち ひちそう



七宗町長 井戸 敬二

七宗町は、岐阜県の中南部に位置し、町域面積のほぼ9割を標高200メートルから700メートルの山林が占め、町内を東から西に流れる飛騨川と、北から南に流れる神瀬川に沿って、住居が点在する中山間地の町です。

人口は本年6月1日で、3,677人、県内では3番目に人口の少ない自治体で、高齢化率は45.85%と非常に高く、若年層の人口減対策が急務となっております。「住みたい 帰りたい 訪れたい 美しいまち ひちそう」を基本コンセプトに第五次総合計画を策定し、住環境の整備、子育て支援の充実、学校・地域教育の充実、観光の振興を重点施策として推し進めています。

#### まごころあいさつ親切対応

本町では、国保業務のうち保険税の賦課徴収業務を税務課、その他の業務を住民課が担当しています。住民課には、保険・福祉・健康の各係と地域包括支援センターがあり、正に人の生命の始まりから終わりまでをサポートする、幅広い業務を行っています。高齢化が著しく進む本町では、小さな町だからこそ出来るきめ細かな行政サービスを目指し、職員一人一人がプロの行政マンとしての自覚を持ち、スローガンである「まごころあいさつ親切対応」を心掛け、住民のみなさまの暮らしを支える一翼を担っています。

#### 特定健診結果相談会の実施と軽運動の推進

当町のような小さな自治体では、高額な医療費を必要とされる被保険者が一人増えるだけで、国保財政を圧迫してしまうことから、特に病気の重症化予防対策に重点を置いています。特定健診の受診者全員（健診結果の善し悪しにかかわらず）に対して、結果相談会を実施し、保健師や管理栄養士が一人ずつ面談をしながら、健診結果を本

人にお返ししています。必要な方には、その後も継続して支援を行っています。

また、平成28年度から町民の健康寿命の延伸を目指し、日々の暮らしの中で運動をするきっかけづくりを目的に、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加を始めました。これは、毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間で、15分以上の身体運動を実施し、その参加率を同程度の人口規模の全国の市町村同士（一対一）が競い合うイベントで毎年住民の40%以上が参加されています。

また、当町で開催する会議では、開始前に「ちょっとだけ体操」をどの部署でも行い、参加者に軽い体操を行うようにしており、運動習慣の意識付けを行っているところです。今後も更なる健康寿命の延伸を目指し継続したいと考えています。

#### 国民健康保険の安定的存続

国民健康保険は、日本の国民皆保険の基盤となる仕組みであります。年齢構成が高く医療費水準が高い、所得水準が低く保険税の負担が重い、財政運営が不安定な小規模保険者が多い、など構造的な課題をこの市町村も長年抱えていました。これらの課題に対応し安定的に制度を維持する事を目的に、県が平成30年4月に国民健康保険財政運営の責任主体となっていた事、市町村のリスクを分散させるなどの対策を柱とした制度改革が行われました。

将来的には市町村の枠を超え支え合う仕組みとなり、保険税も統一していかねばなりません。本町の保険税は県内では最も低い段階に加入者に急激な負担を掛けたいという段階的に対応していきたくと考えています。国民健康保険の安定的存続のためには、この制度改革が最善の策である事を信じ進めてまいりたいと考えています。

#### 七宗町のあらまし

#### DATA(令和2年4月1日現在)

面積	90.47km <sup>2</sup>
世帯数	1,441世帯
人口	3,693人
国保加入世帯	604世帯
世帯加入率	41.9%
国保加入者数	972人
国保加入率	26.3%



#### 町章

町名の七の字を圖案化して、町の将来の円満な発展、飛躍を現すと共に、町民の融和、協力を端的に象徴したものです。



町の花  
しゃくなげ



町の木  
ひのき

